

龍潭通り沿線地区都市景観形成地域 景観形成基準等チェック表(申請者用)

申請者: _____
 行為地: 那覇市 _____
 地区: 龍潭通り沿線地区都市景観形成地域 _____
 届出者: _____
 説明日: _____年 ____月 ____日(申請者と届出者が異なる場合に記載する)

申請日: _____年 ____月 ____日

項目		制限内容	自己診断	配慮事項
敷地境界	囲障の設置/位置	石垣による囲障を設けることが望ましい。 ・道路境界から囲障の幅は建築物壁面の最小後退幅に準ずる。(0.9m後退) (これによれない場合) 0.45m以上かつ敷地奥行き距離の1割以上後退させ歴史的景観に調和する。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	囲障の形態/構造	伝統的な琉球石灰岩石積による石垣、又は同様の景観を有する石張りで高さ1.2m程度とする。 生垣の場合は、風土樹種の刈込、竹垣はチニブ垣とする。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	囲障の開口部	開口部の幅は1カ所あたり3m以内に抑えるよう努める。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	門・門扉	門・門扉を設ける場合は、ヒンブン、ヤージョウ、木門などの伝統的な形態を活用することが望ましい。シャッターを設ける場合は、落ち着いた意匠とし壁面の背後に配置するなど道から直接見えにくいよう努める。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
建築物	壁面位置(最小後退幅)	道路境界から建築物の外壁、柱面を0.9m(半間)以上後退して、雨端空間や緑化空間を確保する。 (これによれない場合) 0.45m以上かつ敷地奥行き距離の1割以上後退させ歴史的景観に調和する。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	建物高さ	建物高さは軒高12m以下とし、絶対高さ15m以下とする。ただし、龍潭に面する区間は絶対高さ10m以下とする。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	屋根・軒	赤瓦勾配(概ね5寸勾配)屋根とする。前面道路に対して軒を出すことが望ましい。寄棟が望ましいが、切り妻形式の場合は平入りとして軒を見せるように努める。赤瓦は本瓦、又はS瓦、断熱瓦葺きとする。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	外壁意匠	建物が直接道路に面する場合、石等の自然素材を用いて歴史性のある意匠とすることが望ましい。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	外壁色彩	基調をなす部分には、金属系の素材やけばけばしい色を用いず、ベージュ、アイボリー系の淡色として歴史的景観に調和する。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	庇	道路側1階部分に、赤瓦の庇を設けることが望ましい。軒裏の意匠も歴史性に調和するよう十分配慮する。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
附属物・設備等	車庫/物置等	道路に面した車庫・駐車場の開口部の幅は、3m以内に抑えるように努め、むき出しにならない配置や修景に配慮する。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	建築付帯設備構造物等	物置等は、街路景観を阻害しないよう位置、形態に配慮し、色彩はベージュ、アイボリー系等の淡色として歴史的景観に調和する。 水タンクや室外機等は、できるだけ道路から見えない位置に設ける。 ・屋根上に配置する場合は、屋根の形態を維持できる収まりを考慮すると共に遮蔽等修景に努める。 ・色彩は、ベージュ、アイボリー系等の淡色として歴史的景観に調和する。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	自動販売機類	道路から広く目視される位置には、できるだけ設置しない。設置する場合は建築物等への一体的な組み入れや遮蔽など、位置、形態、色彩等に配慮し、歴史的景観を阻害しないよう努める。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
屋外広告	屋外広告物	設置する看板の数は、最小限として、素材・形態・色彩等は歴史的景観に配慮し工夫する。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
緑化	グリーンハルト	囲障、または建築物を後退した部分のうち少なくとも道路境界から30cmの区間は裸地、又は透水性の舗装とし沖繩らしい草花や地被植物などを植栽する。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	敷地内緑化	敷地内の景観木は保全する。また、建築物の後退した空間は、中高木、花木により積極的に緑化する。歴史的、風土的な樹種を主に、周辺との調和を図る。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	

	助成基準内容		
屋根	屋根瓦面積は、原則として建築の水平投影面積の2/3以上(66.6%)。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	屋根形状は寄せ棟を原則とし、勾配は5～4、5寸を目指し最低4寸以上。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	沖縄産赤瓦在来瓦葺き及びS瓦葺きまたは断熱瓦葺き漆喰押さえ。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	赤瓦屋根面には、原則として天窗、ソーラーパネル等付属物を設置しない。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
壁面後退	壁面後退の対象は、庇以外の建築物の部分（外壁、柱、梁、出窓、バルコニー手摺）とする。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	壁面後退で出来た空間は、雨端空間として、連続するグリーンベルトや石張り等により、歴史景観に調和させる。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
外壁意匠	道路に面する外壁部等の仕上げ材は、できるだけ琉球石灰岩や木材等の自然素材を取入れ歴史景観に調和させる。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
設備等	給水方式を加圧式とする等、屋根面より上部への設備類等の突出はなくすように努める、やむを得ず高架水槽を設置する場合は、努めて低く設定し、建築物と調和した意匠とする。	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
その他	敷地の緑被率15%以上を確保する事	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	
	省エネ適合基準を満たしている	<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	